

## 園芸施設の省エネルギー対策はもうお済みですか

施設園芸農家の皆さんへ

平成17年11月16日

原油高騰に伴う施設園芸などの燃料費の影響を緩和するため、燃料節減に向けた取り組みが大切です。

### [ 対応方策 ]

#### 1 暖房機器の清掃、点検

燃焼状態を良好にし、熱交換効率を高めることが大切です。

熱交換面である缶体の掃除

バーナーノズル周辺のディフューザ廻りのススや汚れの除去

ノズルの交換（1年又は燃料10KL消費ごと）

エアーシャッターの調節

燃焼用空気取入口の設置

送風機（ファン）の送風量の確保

#### 2 施設（温室、ハウス）の点検

温室内の熱を逃さないこと、外部からの冷気の侵入を防ぐことが大切です。

##### （1）ハウスの気密性向上

周壁部や谷部など被覆の隙間の点検、補修やバンドの締め直しを行ない  
機密性の向上を図る

冷気の流入を防ぐため、以下の部分の気密性を高める

- ・ハウス出入口口
- ・内張フィルムの接合部
- ・サイドフィルムの裾部
- ・ハウスの谷部
- ・サイド換気部

##### （2）多層被覆

2重3重被覆資材（空気の層ができるよう間隔を1cm以上あける）  
や保温性の高い内張資材の導入による保温性の向上

2層カーテンの間の軒部の隙間を塞ぐ

\* 多層被覆にすると寡日照や高温・多湿傾向になるので、流滴性や通気性など湿度対策を考慮した資材選択に加え、日中の換気や病害虫防除などの適正な管理が必要です。

### 3 4段変温サーモによるハウス内温度管理

夜間の変温管理ができるよう、多段式サーモ装置等の活用があります。

変温管理は、一日を4つの時間帯に分け、作物の生理に合わせた温度管理をすることで、夜間一定温度の管理では難しい生育促進と省エネルギーを図る事です。

### 4 原油価格高騰に伴う資材購入等に利用できる融資制度の活用

省エネルギー対策のための被覆資材の購入や暖房機などの改良・整備・重油等燃料の購入に利用可能。